一般質問

▲動画配信が見られます

竹原亞生（たけはらつぐお）

■地域における活動支援について

質問 地域活動の活性化支援は

町▶運営マニュアル等の作成を進める

問 地域活動を活性化するためには、自治会長ひとりで運営するのではなく、組織的に運営する自治会が必要。組織的運営を行うには規約が必要であるが、規約を制定している自治会は90の内11しかない。運営をどのように支援するのか。

答〔総務課長〕
規約の制定が明確な自治会運営につながると考えている。

安心・安全な暮らしを守る地域社会の形成

かつての地域社会　**親密な人間関係を構成**：「向こう三軒両隣」

住民意識の変化

（変化の要因）
○少子高齢化の進展
○核家族化・単身世帯の増加
○生活様式の多様化　等

現在の地域社会　**地域とのつながり・結びつきの希薄化**：「隣は何をする人ぞ」

地域社会のつながり・結びつきの必要性を再確認し、地域での自発的な取り組みの推進

安心・安全な暮らしを守る地域社会の形成

消防庁「自主防災組織の手引き」より

問 自主防災組織の結成が進まないのは、基盤となる自治会が組織的運営をしていないこと、町の支援が足りないことによる。自主防災組織運営マニュアルを作り、立ち上げを支援する考えは。

答〔総務課長〕
今年度中に自主防災組織運営マニュアル作成に向けた事務を進める。

問 自治会運営、自主防災組織立上げなどに対する町職員による支援は。

答〔総務課長〕
現状を見直し、限られた職員数でどのような対応ができるか、地域の実情に合わせて踏み込んだ支援がどの程度可能か検討する。

■不登校対応について

質問 同一性を求める教育を変える考えは

町▶学校のあたりまえを見直す

問 小中校の不登校率は全国平均の2倍となっており、この2年間でも増えている。不登校が減っていないのはこれまでの取り組みではだめだということだ。不登校増加要因は。

答〔教育長〕
きっかけは学校生活にある事も多いが、先生や友人、親子関係において不安な要素がある子供は不登校につながるケースが多いと感じる。

不登校率推移（%）

	小学校		中学校		小中合計	
	那須町	全国	那須町	全国	那須町	全国
2016年度	1.69	0.47	4.87	3.01	2.89	1.35
2017年度	1.64	0.54	6.98	3.25	3.62	1.47
2018年度	1.75	0.70	6.12	3.65	3.40	1.69
2019年度	2.73	0.83	10.02	3.94	5.33	1.88
2020年度	1.90	1.00	7.80	4.09	4.05	2.05
2020全国比	1.9倍		1.9倍		1.8倍	

問 不登校を減らすために、子供たちに同一性、画一性を求める教育を変える時ではないか。

答〔教育長〕
日本の教育は、同一性を求め、同調圧力が育ってしまい、負の連鎖が起こっていた。学校のあたりまえを見直すよう小中学校にお願いしている。子供の自立を促すため、児童が自ら行事の企画運営を行う、画一的な宿題をなくす、固定担任制から学年担任制の導入など、各学校で自主的に取り組んでいる。

※ほかに・・・「放射能廃棄物について」の質問もしています。